

帰宅困難者対策モデル企業



主な事業

大塚製薬株式会社 首都圏第二支店

医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品の製造、製造販売、販売

従業員数

5,657名（全社2020年12月31日現在）
95名（首都圏第二支店2020年12月31日現在）

災害救援自販機の設置

緊急災害時には、飲料・食品の備蓄庫としての役割と、電気が不通の場合でも手動操作で商品を取り出す事が出来る不測の事態に備えた自動販売機を設置。停電になると、自動販売機に電源が入らず、災害時に使用できない!との声があった背景から災害の発生により、ライフラインが寸断されてしまった時には一時的に飲料・食料を提供するインフラとして、の役割を担う。

自動販売機内の製品も社員の健康を意識した内容で飲料だけではなくてカロリーメイトやソイジョイ等の栄養補助食品を災害備蓄の一環として入れている。



災害時救援自動販売機は、災害等で停電になった際、人的操作で自動販売機内の健康飲料や食品を搬出することができる

健康を考えた食料・飲料水や感染症対策品の備蓄及び確保

■各事業所で備蓄（カロリーメイト・ロングライフ・クリスタルガイザー・ご飯・トイレ・ブランケット）



■横浜支店で備蓄（エアマツ・蓄電池・ソーラーパネル）



ガス・電気・水道といったライフラインが止まっても調理せずに飲食ができる且つ5大栄養素のバランスを考えたカロリーメイト等の備蓄品も揃えて社員分を確保している。又ローリングストックを実施している。

全国であらゆる災害が発生し、帰宅困難者も出ている背景に伴い、トータルヘルスケアカンパニーとしてのあるべき姿を考え備蓄品の内容も健康に配慮した製品を準備した。

昨今の社会情勢を鑑み、感染症対策にも必要なマスク・アルコール消毒液等も揃えている。

従業員それぞれに非常持出袋・防災車載セットを配付・設置

数多くの自然災害が甚大な被害をもたらし、車に乗っている時に災害に遭遇する確率も高くなってきた背景から、事務所内の各個人の防災セットに加えて運転中の被災及び帰宅支援を考え、新たに2021年から全営業車に「車に積載しておくべき防災品8点（水、カロリーメイトロングライフ、脱出用ハンマー等）」を配付し設置。

常に不測の事態を想定して、社員各自責任の元、定期的に設置状況とセット内容を確認し備えている。

① 7年保存クッキー 加圧加熱殺菌 長期保存食 -20~80℃耐候商品	② 7年保存水500ml 99.9%不純物無の 長期保存水 -30~80℃耐候商品	③ 防災用簡易ライト 折り曲げるだけで光る 電池不要10~12時間
④ レスキューシート 防災必備品の 非常用2WAYシート (保温と熱反射)	⑤ 簡易トイレ (3回分) 凝固剤がいらぬ 新しいタイプの 非常用トイレ	⑥ 目かくしボンチョ 携帯トイレ使用時や 野外で着替時に 雨や寒さ対策にも
⑦ 蓄光ホイッスル 蓄光素材埋込み 暗闇でも光る 大音量95dB	⑧ 緊急脱出用ハンマー 水没や事故時に 素早く車外へ脱出 (性能試験結果有)	※注意! ⑦ホイッスルと⑧ハンマーは 運転席から手の届くところに 保管ください。